

誰もが居場所と出番があるまちに

くお互いさまからありがとうの連鎖へく

第6回

地域共生 社会推進 全国サミット in いこま

令和6年

10/11(金)・12(土)

会場 たけまるホール(奈良県生駒市北新町9番28号)他



記録集

令和6年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

第6回地域共生社会推進全国サミット in いこま

誰もが居場所と出番があるまちに

～お互いさまからありがとうの連鎖へ～

大会概要

本サミットは、有識者による講演や全国の先進事例の紹介などを通じて、「支える側」「支えられる側」という関係や世代、分野を超えて、多様な人がつながり支えあう「地域共生社会」について、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすために、市民、各種団体、事業者、自治体職員などが我が事として考え、理解を深めることを目的として開催した。

主催

奈良県生駒市

主管

第6回地域共生社会推進全国サミット in いこま 実行委員会

後援

公益社団法人 日本医師会
公益社団法人 日本歯科医師会
公益社団法人 日本薬剤師会
社会福祉法人 全国社会福祉協議会
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
公益社団法人 日本社会福祉士会
一般社団法人 日本介護支援専門員協会
公益社団法人 日本介護福祉士会
認定 NPO 法人 市民福祉団体全国協議会
奈良県
厚生労働省近畿厚生局

目次

(敬称略・順不同)

(所属・職名等は開催当時のもの)

大会概要	1
目次	2
タイムスケジュール	4

1 日目 10 月 11 日 (金)

開会式	7
-----------	---

【主催者挨拶】

生駒市長 小紫 雅史

【来賓祝辞】

厚生労働大臣	福岡 資麿
南 孝徳	
奈良県知事	山下 真
代読 奈良県福祉医療部長	山中 淳史
前衆議院議員	馬淵 澄夫
前衆議院議員	小林 茂樹
参議院議員	堀井 巖
生駒市議会 議長	吉村 善明

基調講演	15
------------	----

地域づくり（地域共生社会）の現在地と今後の展望

前厚生労働事務次官 大島 一博

実行委員会発表	25
---------------	----

サミットをきっかけに生まれた新たなつながり

生駒市特命監	田中 明美	
～前半～		～後半～
生駒市農業振興協議会	井上 良作	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
生駒市福祉政策課	上野 貴之	中川 賀史
社会福祉法人どんぐり	山本 弘二	生駒市民生委員・児童委員連合会
生駒市老人クラブ連合会	加来洋八郎	松山 敏宏
生駒市広報広聴課	村田 充弘	株式会社やまと
社会福祉法人萌	山口 健一	一般社団法人無限
社会福祉法人いこま福祉会	大谷健太郎	石田 慶子
生駒市社会福祉協議会	宮西 泰介	一般社団法人和草
		溝口 雅代
		生駒市 PTA 協議会
		川本 綾子

特別企画	41
------------	----

地域共生社会とコミュニティデザイン

studio-L 代表・関西学院大学建築学部教授
コミュニティデザイナー・社会福祉士

山崎 亮

分科会 A	43
未来を拓く子育て・教育	
【コーディネーター】	同志社女子大学 名誉教授 上田 信行
【パネリスト】	生駒市教育委員会 教育長 原井 葉子
株式会社アール・エヌ・シー訪問看護ステーション RNC 管理責任者	小林 真理子
株式会社イツノマ 代表取締役 CEO	中川 敬文
アトリエ e.f.t. 主宰	吉田田 タカシ
ランチョンセミナー	67
地域共生社会と地域医療	
公益社団法人地域医療振興協会	
明日香村国民健康保険診療所 所長	武田 以知郎
分科会 B	79
地球で生きる～居場所・出番のあるまち～	
【コーディネーター】	同志社大学 社会学部 教授 永田 祐
【パネリスト】	
一般社団法人 共生社会実現サポート機構とんとんとん 代表理事	山内 勇人
鳥取大学医学部地域医療学講座 准教授	孫 大輔
一般社団法人 SPS ラボ若年認知症サポートセンターきずなや 代表理事	若野 達也
一般社団法人 てとわ 代表理事	山端 聡
分科会 C	99
分野を越境するまちづくり	
【コーディネーター】	近畿大学 総合社会学部 教授 久 隆浩
【パネリスト】	
岡山県英田郡西栗倉村 職員	井上 大輔
大阪府豊中市社会福祉協議会 事務局長	勝部 麗子
いこま未来 Lab プロジェクトマネジャー	田村 康一郎
いこま未来 Lab 第 2 期生・第 3 期生	鹿島 彬良
生駒台自治会 会長	向 静香
特別講演	113
「居場所と出番があるまち」の実現に向けた協働・私たちができること	
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 会長	村木 厚子
大会総評	129
内閣官房参与（社会保障・人口問題・地方創生担当）	
内閣官房全世代型社会保障構築本部総括事務局長	山崎 史郎
引継式	133
生駒市長	小紫 雅史
加賀市長	宮元 陸
スナップショット	139
実行委員会名簿	163



第6回地域共生社会推進全国サミット in いこま タイムスケジュール 1 / 2

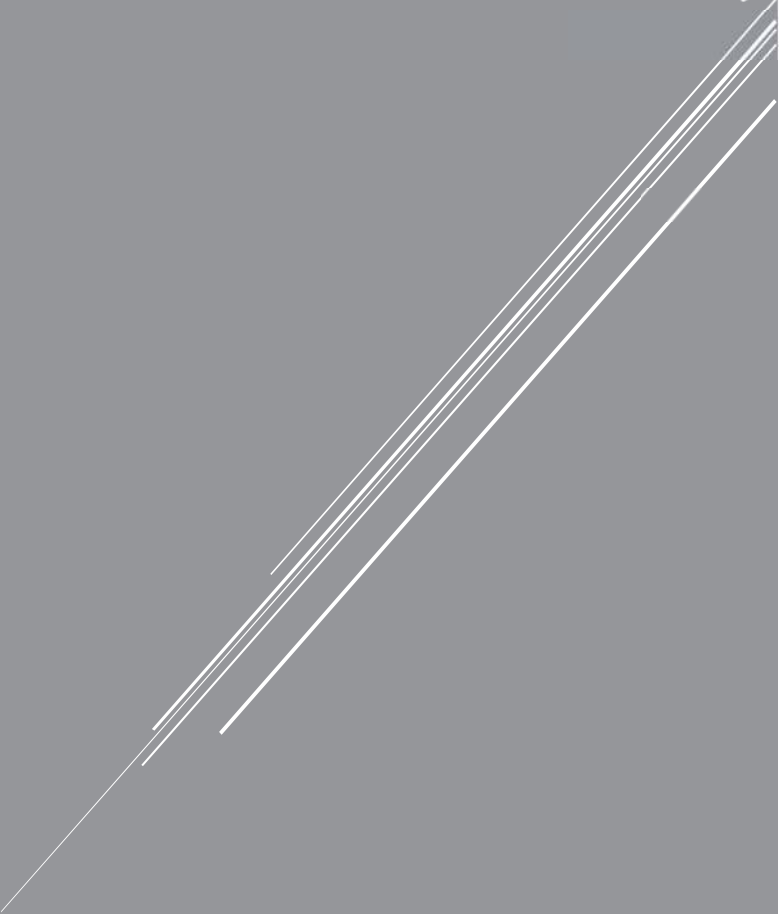
大会1日目	12:50～13:00	アトラクション 生駒山麓太鼓保存会		
	13:00～13:20	開会式		
	13:20～14:20	基調講演 地域づくり（地域共生社会）の現在地と今後の展望 大島 一博（前厚生労働事務次官）		
	14:30～15:30	実行委員会発表 サミットをきっかけに生まれた新たなつながり		
	15:50～16:00	アトラクション バラチアによるダンス（STYLEY）		
	16:00～17:00	特別企画 地域共生社会とコミュニティデザイン 山崎 亮（studio-L）		
	18:30～20:30	交流会 実行委員によるおもてなしや生駒市民吹奏楽団の演奏		
全日程共通		常設コンテンツ ▶たけまるホールやコミュニティセンターでは、地域共生社会に関する取組をパネル展示！ ▶たけまるホール研修室6では、友好都市・次回開催都市による物産展を実施！		
大会2日目	9:30～11:00	視察 生駒市内の取組視察（分科会Aと選択制）		
		視察コース①	コスモールいこま	精神障がいのある方の活動
			ひまわりの集い	高齢者の会食サロン
		視察コース②	まちのえき（生駒台自治会）	現役世代による自治会館の活用
			図書館	知的障がいのある方への読書サポートボランティア
		視察コース③	まちのえき（北小平尾自治会）	農園を活用した地域づくり
			喫茶ゆうほ～	障がいのある方の就労
		視察コース④	長弓寺円生院	お寺での地域活動
			しおのめハウス	地域に開かれた民泊
		視察コース⑤	キッチン突き当たり まほうのだがしや南チロル堂	障がいのある方の就労 地域の子どもの居場所
			小平尾南（憩いの場）たわわ食堂	地域食堂
		視察コース⑥	いこま乳児院・愛染寮	乳児院、児童養護施設
			生駒山麓公園レストラン	障がいのある方の就労
		視察コース⑦	まちのえき（萩の台住宅地自治会）	資源回収やカフェの実施



第6回地域共生社会推進全国サミット in いこま タイムスケジュール 2 / 2

大会2日目

9:30~11:00	分科会 A 未来を拓く子育て・教育（視察①～⑦と選択制） コーディネーター： 上田 信行（同志社女子大学 名誉教授） パネリスト： 原井 葉子（生駒市教育委員会 教育長） 小林 真理子（株式会社アール・エヌ・シー訪問看護ステーション RNC 管理責任者） 中川 敬文（株式会社イツノマ 代表取締役 CEO） 吉田田 タカシ（アトリエ e.f.t. 主宰）
	お弁当マルシェ 市内事業者によるお弁当マルシェや、訪問看護事業所が様々な団体と繋がって 雑貨マルシェ 実施している雑貨マルシェを同時開催！
11:20~12:20	映画「そのこえ」上映 ゲスト：田中 大志（映画監督） 作品展示・協働企画 絵画・書等の展示や地域包括支援センター&生活支援センターが協同で、さをり織・くすみボタン作り・ボッチャ・モルックの体験会を実施！
11:30~12:30	ランチョンセミナー 地域共生社会と地域医療 武田 以知郎（公益社団法人地域医療振興協会 明日香村国民健康保険診療所 所長）
13:00~14:20	分科会 B 地域で生きる～居場所・出番のあるまち～ @たけまるホール コーディネーター： 永田 祐（同志社大学 社会学部 教授） パネリスト： 山内 勇人（一般社団法人共生社会実現サポート機構とんとんとん 代表理事） 孫 大輔（鳥取大学医学部地域医療学講座 准教授） 若野 達也（一般社団法人 SPS ラボ若年認知症サポートセンター きずなや 代表理事） 山端 聡（一般社団法人てとわ 代表理事）
	分科会 C 分野を越境するまちづくり @コミュニティセンター コーディネーター： 久 隆浩（近畿大学 総合社会学部 教授） パネリスト： 井上 大輔（岡山県英田郡西粟倉村 職員） 勝部 麗子（大阪府豊中市社会福祉協議会 事務局長） 田村 康一郎（いこま未来 Lab プロジェクトマネジャー） 鹿島 彬良（いこま未来 Lab 第2期生・第3期生） 向 静香（生駒台自治会 会長）
14:40~14:50	アトラクション 生駒市立俵口小学校吹奏楽部による演奏
14:50~16:20	特別講演 「居場所と出番があるまち」の実現に向けた協働・私たちができること 村木 厚子（社会福祉法人 全国社会福祉協議会 会長）
16:20~16:30	総評 山崎 史郎（内閣官房参与（社会保障・人口問題・地方創生担当） 内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局総括事務局長）
16:30~17:00	引継式 サミットは生駒市から加賀市へ！



第6回 地域共生社会推進全国サミット in いこま

開 会 式

10/11
fri.

開
会
式

基
調
講
演

発
行
委
員
会
表
会

特
別
企
画

10/12
sat.

分
科
会
A

セ
ミ
ナ
ー

分
科
会
B

分
科
会
C

特
別
講
演

大
会
総
評

引
継
式

シ
ス
ヨ
ナ
ツ
ト
ブ



開 会 式

令和 6 年 10 月 11 日 (金) 13:00 ~ 13:20

たけまるホール 大ホール

	生駒市長	
主催者挨拶	こむらさき まさし 小 紫 雅史氏	
	厚生労働大臣	厚生労働省 社会・援護局 地域共生社会推進室 室長
来賓祝辞	ふくおか たかまろ 福岡 資麿氏 代読	みなみ たかのり 南 孝徳氏
	奈良県知事	奈良県福祉医療部長
	やました まこと 山下 真氏 代読	やまなか あつし 山中 淳史氏
	前衆議院議員	
	まぶち すみお 馬淵 澄夫氏	
	前衆議院議員	
	こばやし しげき 小林 茂樹氏	
	参議院議員	
	ほりい いわお 堀井 巖氏	
	生駒市議会 議長	
	よしむら よしあき 吉村 善明氏	

主催者挨拶

生駒市長 小紫 雅史



皆さん、改めましてこんにちは。

今日は、大変お忙しい中、全国各地から、また市内県内の皆様もこの生駒の地にお越しいただき、誠にありがとうございます。市内県内から約400名、そして県外から約500名が、このたけまるホールに集まり、多くの皆様に支えられてこのサミットを開催できることを、心から嬉しく思います。本当にありがとうございました。

このサミットは、実行委員会の皆様に支えられて準備を進めることができました。42名の実行委員の皆様は、実行委員会の活動だけでなく、スタートした後も自然発生的におもてなしの分科会を作ったり、懇親会で議論を深めたり、事例発表も自分たちで企画したりと、主体的に動いて準備を進めてくださいました。

また、職員も担当課だけでなく、多くの部署の職員が集まり、アイデア出しのワークショップを開催したり、それを実現するためにまちの中を奔走したりしました。もちろん、重層的支援や孤独・孤立対策を進めながら、このサミットに向けた準備も怠りませんでした。関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

昨年の第5回目の豊田市への訪問から約1年が経ちました。楽しみながらプロセスを進めてきた結果、地域共生の仕組みが深まり、実行委員同士が仲良くなり、生駒市における地域共生のつながりが強まりました。この機会をいただいた厚生労働省や地域共生政策自治体連携機構の関係者の皆様に改めて御礼を申し上げます。

さて、いよいよ今日から2日間が本番です。こ

のサミットのポイントを私なりに三つまとめてみました。

一つ目は、最高のプログラムで皆様をお迎えることです。今日、明日、ぜひご体感いただき、ご感想をお聞かせいただきたいと思います。素晴らしい内容のコンテンツと登壇者が集まっていることはもちろんですが、単なる座学ではなく、視察コースも用意し、実践現場を体験していただけるようにしました。座学と実践、そして学びと交流の楽しみのバランスを体感していただきたいと思います。

二つ目は、生駒市全体がサミット会場であるということです。会場での開会式だけでなく、駅前の広場でも市民による催しが行われており、視察コースも七つあります。生駒市民にぜひ声をかけていただき、生駒市民がどれほどまちを愛し、自ら活動しているのかを知っていただきたいと思います。

そして三つ目は、何よりも、本当に楽しんでいただきたいと思います。実行委員会や関係者の皆様の準備は大変でしたが、私たちはこのプロセスを1年間楽しんでできました。そして今日、明日也大いに楽しみ、終わった後も地域共生社会を築くために楽しんでいきたいと思っています。これが実行委員会の一番大切な約束です。参加された皆様も、ぜひこの生駒のまちを楽しみ尽くして帰っていただければと思います。

最後になりますが、私もSDGsのバッジを着けていますが、「誰一人取り残さない」というのがSDGsの最大の理念です。しかし、これでは不十分だと私は常々言っています。誰一人取り残さない社会を実現するためには、「誰一人お客様にしない、全ての人に役割があり、安心できる居場所と活躍できる場所」が必要です。それによって、初めて地域共生社会が実現するのだと考えています。この理念をどのように実践していくのか、この2日間で皆様と共に考えていきたいと思っています。

私もこの2日間でできる限り多くの方とお話することを目標にしていますので、ぜひお声掛けいただきたいと思います。この生駒市のサミットが、参加された皆様にとって大きなターニングポ

10/11
fri.

開
会
式

基
調
講
演

発
行
委
員
会
表
会

特
別
企
画

10/12
sat.

分
科
会
A

ラ
ン
チ
ナ
イ
ン

分
科
会
B

分
科
会
C

特
別
講
演

大
会
総
評

引
継
式

シ
ス
ヨ
ナ
ウ
ッ
ト
フ

10/11
fri.

開
会
式

基
調
講
演

発
行
委
員
会
表
示

特
別
企
画

10/12
sat.

分
科
会
A

セ
ミ
ナ
ー

分
科
会
B

分
科
会
C

特
別
講
演

大
会
総
評

引
継
式

シ
ス
ヨ
ナ
ッ
ト
ブ

イントとなり、地域共生社会が進むきっかけとなることを願っています。皆様には、この2日間で学び、地元に帰ってアクションを起こすエネルギーを蓄えていただける最高の2日間にしたいと思います。

最後になりますが、2日間ぜひ皆で一緒に楽しんで参りましょう。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

来賓祝辞

厚生労働大臣 福岡 資麿

代読 厚生労働省社会・援護局 南 孝徳
地域共生社会推進室 室長



皆さん、こんにちは。今ご紹介いただきました厚生労働省の地域共生社会推進室長をしております南と申します。本日はサミットの開催、誠にありがとうございます。本来であれば、先週新しく就任いたしました福岡資麿厚生労働大臣が本会場に伺い、ご挨拶をすべきところですが、あいにく公務のため出席が叶いませんでした。そこで、福岡大臣からのメッセージをお預かりしますので、代読させていただきます。

本日、第6回地域共生社会推進全国サミット in いこまが多くの皆様のご参加のもと、盛大に開催されることを心からお喜び申し上げます。また、サミットの主催者である生駒市を始め、開催にあたりご尽力いただいた実行委員会の皆様に対し、心から敬意を表します。

我が国では、高齢化や人口減少が進んでおり、地域、家庭、職場といった生活領域におけるつながりや支え合いの基盤が弱まっています。加えて、多くの地域では社会経済の担い手も減少しており、地域社会そのものの存続が危ぶまれています。このため、人と人とのつながりを再構築し、誰も

が役割と生きがいを持ち、互いに支え合う関係が循環する地域社会を目指すことが求められています。また、人と資源が循環し、幅広い関係者の参加と協働により持続的発展が期待できる地域社会の実現も重要です。この二つの視点から成る地域共生社会の実現が今、求められています。

本サミットは、生駒市民や産・官・学・民から42団体が参加するサミット実行委員会、小紫市長を筆頭に構成する地域共生社会推進会議など、関係者が市民力や地域力を最大限に生かし、開催までのプロセスを楽しみ、サミットを契機にまちをより魅力的な場所にするための協働共創を生み出すことを大切に準備されてきており、このプロセスこそが地域共生社会のあり方そのものだと感じています。

厚生労働省では、本年6月から地域共生社会のあり方について検討会議を進めており、本サミットで現場の生の声を聞かせていただきたいと考えています。本サミットを通じて、新たな人々のつながりにより、テーマである「お互いさまからありがとうの連鎖へ」が生駒市から全国に波及していくことを期待しています。

最後になりますが、大会の成功と、本日まで参加いただいている皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、私の祝辞といたします。

令和6年10月11日 厚生労働大臣 福岡 資麿



来賓祝辞

奈良県知事 山下 真

(代読 奈良県福祉医療部長 山中 淳史)



ただ今ご紹介いただきました、奈良県庁の福祉医療部長を拝命しております山中でございます。本来であれば、奈良県知事の山下真本人がこの場で皆様にご挨拶を申し上げるべきところですが、あいにく公務のため欠席させていただいております。代わりに、知事から祝辞を預かって参りましたので、代読させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、「第6回地域共生社会推進全国サミット in いこま」が多くの皆様のご参加のもと、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。全国各地から奈良県生駒市にお越しいただいた皆様に、心から感謝を申し上げますとともに、地元知事として歓迎申し上げます。

また、サミットの主催者である生駒市様、開催にあたりご尽力いただきました実行委員会の皆様、及び関係各位に心から敬意を表し、御礼を申し上げます。

さて、昨今の社会情勢は、少子高齢化や人口減少の影響を受け、人々の暮らしや地域のあり方が多様化する中で、地域で暮らす人々やご家庭が抱える困りごとが複雑化・複合化しております。

本サミットは、全国の自治体や保健・医療・福祉・まちづくりの関係者、そして、事業者の皆様による熱心な取組の共有や意見交換を通じて、参加者の皆様が地域共生社会の実現について、我が事として考え、誰もが居場所と出番のあるまちづくりに活かせるヒントやアイデアを得る絶好の

機会でございます。

様々な困難な状況に立ち向かい、支える側と支えられる側の関係、世代や分野を超えた地域での支え合いや多様な社会参加のあり方について、しっかりと考える場としていただけることを期待しております。

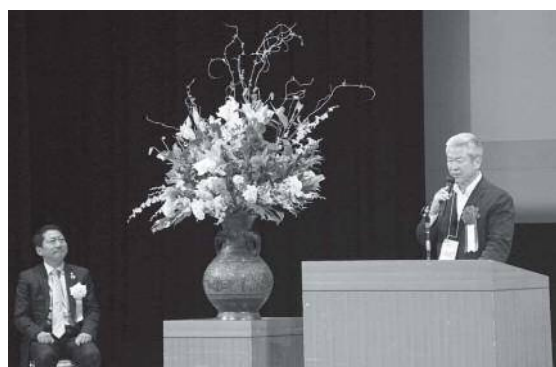
奈良県では、令和4年3月に「奈良県人と人及び人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進に関する条例」を制定し、地域住民の困り事を包括的に把握し、適切な支援につなげる仕組みづくりに、奈良県内の市町村や関係機関の皆様と共に取り組んでおります。このサミットを好機として、県としても一層の取組を推進してまいりたいと考えております。

結びになりますが、このサミットを通じて、地域共生社会の実現が大きく前進するとともに、本日ご参加いただいている皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和6年10月11日奈良県知事 山下 真

来賓祝辞

前衆議院議員 馬淵 澄夫



皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました前衆議院議員の馬淵澄夫でございます。一昨日、国会が解散となり、前職となりました。

また、本日は第6回地域共生社会推進全国サミット in いこまが盛大に開催されることを心からお喜び申し上げます。サミットのスローガンメッセージは「居場所と出番」、この二つの言葉が掲げられています。この言葉は私たちにとって非常に思い出深いものであり、居場所と出番について私

10/11
fri.

開
会
式

基
調
講
演

発
行
委
員
会
表
示

特
別
企
画

10/12
sat.

分
科
会
A

ラ
ン
チ
ン
グ
セ
ミ
ナ
ー

分
科
会
B

分
科
会
C

特
別
講
演

大
会
総
評

引
継
式

シ
ス
ヨ
ナ
ツ
ト
ブ

たちがかつて政権時代に語っておられたのは、教員の経験のある大先輩の参議院議員の方でした。

居場所と出番があることによって、子どもたちが自らの育みを高めることができる。共に学びながら、人はこの居場所と出番が大切であることを、繰り返しおっしゃっていたのを思い出します。

しかし、それだけでは足りないとい、社会では孤立や孤独に対する関心が高まっています。やはり人とのつながりが重要であり、この居場所と出番、つながりの三つを合わせてキーワードとして、このサミットが生駒市で盛大に開かれることは、本当に生駒市の皆さんが実践してきた地域共生及びそのつながりを強める活動の賜物だと思います。小紫市長をはじめとする実行委員会の方々が、2年がかりで準備されたこのサミットで、生駒市が先駆的な取組をしていることを、参加されている皆さんが共に学び、楽しむことができ、次なる生駒の発展につながることを願っています。

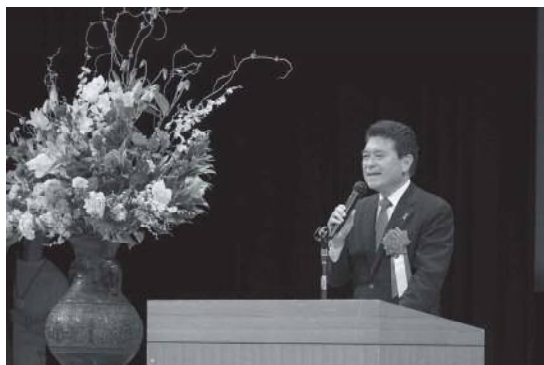
国会が解散されたため、来週から選挙が始まりますが、地域が力を合わせ、分断や孤立が進む社会に対して一体となり、この日本という国を高めていくために、しっかりと取組を進めてまいりたいと思います。

全国からお越しの皆さん、そして生駒市、奈良県からお越しの皆様に心からの盛會を喜び申し上げます。私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日はご開催おめでとうございます。

ありがとうございました。

来賓祝辞

前衆議院議員 小林 茂樹



ご紹介いただきました前衆議院議員の小林茂樹でございます。

本日はサミットの開催、誠にありがとうございます。ご準備をされてこられた皆様に心から感謝申し上げます。

私、実は悩み苦しみを抱え、生きる希望を見つけるためにもがいている方々を支援するために、「いのちの電話協会」の運営にしばらく携わっておりました。この協会は昭和 54 年に創立され、今年で創立 45 周年を迎えます。実は、この運動の始まりは奈良県、特にこの生駒市でございました。

研修を積み大阪で勉強をされてこられた方々が、奈良県にもこの活動の火を灯そうと、当時東生駒駅周辺に Hi-OVIS というシステムを設けて勉強していたとお聞きしています。

第6回目のこのサミットが開催されるということは、全国 47 都道府県の中で非常に早くからこの取組を進めているということです。生駒市には、地域共生社会を築くための素養や土壌を持った方々が既にたくさんおられるのではないかと考えています。

ただし、この社会を築くための歩みは容易ではなく、終わりのない道のりであると思います。最後に願うのは、このサミットを通じて、この運動が広く深く生駒市内に浸透し、さらには奈良県内にも一定の効果を発揮することです。心から願っております。

社会で苦しき悩んでいる人々を応援することは、政治家にとっても同じ役割であると考えています。共にこの運動を進めてまいりたいと思います。

本日の開催、誠にありがとうございます。

来賓祝辞

参議院議員 堀井 巖



皆様、こんにちは。参議院議員の堀井巖と申します。この地元奈良県から国会に送っていただいております。

今日は地域共生社会推進全国サミット in いこまの開催、誠におめでとうございます。全国から多くの方々が奈良県生駒市にお越しになったことと存じます。心から歓迎申し上げます。

私はこの生駒市で、時折介護や医療の分野、また地域コミュニティをしっかりと支えるために活動されている方々にお目にかかることがあります。本当に、皆さんが生き生きと活動されている姿や、みんなを支えるために一生懸命頑張っておられる姿に、常々敬意を表しておりました。

全国サミットが奈良県、生駒市で開催されることは、正にこの場所だからこそ選ばれたのだと思います。これまで生駒市内で一生懸命活動してこられた方々に、心から敬意を表したいと存じます。

私は現在、奈良県でサッカー協会と陸上競技協会の仕事もしております。それぞれの競技力向上について議論していますが、もう一つの大きな柱として、高齢者や障がい者の方々が健常者と同じようにサッカーや陸上競技、あるいは他のスポーツに参加できるようにすることが挙げられます。スポーツへの参加のハードルを下げ、みんながスポーツを楽しめる環境を整えることで、コミュニティも形成されるのではないかと考えています。そのために、私たちに何ができるか、微力ながら議論を進めているところです。

今日のサミットでの様々な議論や学びを通じ

て、私自身も参議院議員として、またサッカー協会や陸上競技協会の役割を持つ者として、一生懸命地域共生社会の推進のために努力してまいりたいと存じます。

本日は誠におめでとうございます。

来賓祝辞

生駒市議会 議長 吉村 善明



改めまして皆さん、こんにちは。ただ今ご紹介いただきました、生駒市議会議長の吉村でございます。皆様、全国各地からこの生駒市へようこそお越しくださいました。開催地の市議会を代表いたしまして、心より歓迎申し上げます。

また、第6回地域共生社会推進全国サミット in いこまがこのように盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、実行委員会の皆様をはじめ、関係者の皆様の多大なるご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、近年、人口減少、少子高齢化、核家族化の進展により、地域や家庭における支え合いの基盤が弱まる中、社会構造の変化や、複雑多様化する生活課題に対応し、誰もが安心して暮らせる社会を築くためには、従来の政策や行政の枠組みを超えた地域共生社会の実現が極めて重要であると考えております。

今回のメインテーマである「誰もが居場所と出番があるまち」「お互いさまからありがとうの連鎖へ」というように、誰もが住み慣れた地域で居場所と役割を持ち、支え合いながら暮らす中で、お互いさまの精神を育み、その精神が「ありがとうの連鎖」を生み出すことで、地域の絆を深め、コミュニティを活性化させていくことが期待さ

10/11
fri.

開
会
式

基
調
講
演

発
行
委
員
会
表
白

特
別
企
画

れます。本サミットの多様なプログラムを通じて、共に学び合い、各地域が抱える課題解決に向けた新たな視点やヒントを得る契機となり、これからのまちづくりの基盤と地域力向上につながっていくことを心から願っております。

結びに、このサミットが地域共生社会に向けた具体的な一歩となり、実り多きものとなりますようご期待申し上げます。また、ご参集の皆様方の今後益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日はご開催、誠におめでとうございます。

10/12
sat.

分
科
会
A

セ
ミ
ナ
ー
シ
ョ
ン

分
科
会
B

分
科
会
C

特
別
講
演

大
会
総
評

引
継
式

シ
ス
ヨ
ナ
ツ
ツ
ト
ブ